



清掃活動には地元有志の住民や大学生などが参加。(茨木市提供)



飲みかけのペットボトルや食品トレーなどが散乱。こうした場所が5〜6か所あったという。(古川さん提供)

SOCIAL コロナ後に急増 放置されたゴミを 地元ボランティアらが清掃

コロナ禍以降、アウトドアが注目を集める一方、利用者のマナー違反が問題となっている。そんな中、7月16日、安威川上流に位置する渓谷「竜仙峡」(茨木市)で地元住民らによる清掃活動が行われた。主催したボランティア団体「RISE」の代表、田中春樹さんは「これからも気持ちよく利用してもらえようマナー向上を目指して活動していきたい」と話す。

竜仙峡は、アマゴやニジマス釣り、川遊びができる観光スポット。これまでは安威川上流漁業協同組合が年3回ほど、清掃活動を行ってきた。

しかし、「RISE」のメンバーで今回の清掃活動を提案した古川伊吹さん(立命館大3回生)によると「昨年の春頃から、以前とは比べ物にならない量のゴミが放置されるようになった」という。放置

されるゴミは、生ゴミのほかコンロや、焼き網、食品トレーなど。「バーベキューをしたままの状態が残っている。これまでの利用者とは違う人たちが訪れているのでは」と話す。

この日の清掃活動には、同漁業協同組合員や、茨木市職員、地元の大学生など計23人が参加。約1時間で45リットルゴミ袋10袋ほどのゴミが集まった。

現在、大阪府が河川の清掃活動をサポートする「アドプト・リバー・プログラム」への参加についても調整を進めており、今後も継続的に活動する予定。

田中さんは「竜仙峡一帯は地元の人々が釣りをしたり、子どもが川遊びをしたりする、もとはすごくきれいな所。ゆくゆくは清掃活動が不要になるようゴミゼロを目指して対策をしていきたい」と話している。

コラム / COLUMN 梅花から「令和」を込めて 栗を食べると

栗が美味しい季節になりました。『万葉集』では、山上憶良が次のような歌を詠んでいます。

- 瓜食めば 子ども思ほゆ
- 栗食めば まして俵はゆ
- いづくより 来りしものそ
- まなかひに もとなかかりて
- 安眠しなさぬ
- 宇利波米婆 胡藤母意母保由
- 久利波米婆 麻斯提斯農波由
- 伊豆久欲利 枳多利斯物能曾
- 麻奈迦比爾 母等奈可々利提
- 夜周伊斯奈佐農

(巻5・802番歌)

「瓜を食べると子どものことが思われる。栗を食べると増して俵はれる。(こんなに愛しい子は)どこから来たのだろう。(ほら今も)目の前に(ちらちら)浮かんで、安眠させてくれない。」我が子にあれも食べさせてあげたい、これも食べさせてあげたい。そういう食材の中に栗が選ばれています。子を愛おしむ親の気持ちもよく表現されています。でも、子どものことばかりを思って、夜もおちおち眠れないというのは穏やかではありません。

実はこの歌、序文がついていて、釈迦如来が子どもを愛したという例え話をしています。良いことのように思われますが、仏教的には、惑溺は愛欲になります。欲=煩惱を

抱えて心の平安は保たれません。今日、「あの人は本当に子ぼんのうな人だなあ」というと、褒め言葉になると思いますが、「子ぼんのう」は漢字で書くと「子煩悩」。憶良は、お釈迦様でさえ子どもを愛するなら、凡人が子を愛することをやめられないのは道理だ、と先の歌を詠みました。更に「銀も金も真珠も何だというのだ、優れた宝は子にまさるものがあるのか。(ないはずだ)」(巻5・803番歌)とうたい継いでいます。

山上憶良は遣唐使船に乗って、多くの漢訳仏典を持ち帰りました。彼の知識は並々ならぬものがあったと思われます。それを仏法の教えとしてだけではなく、歌のモチーフに選んで詠んでみせたところに才能が光ります。真面目な顔をしてこの歌を詠み上げた後で、「子どもを思うことを煩惱、煩惱と言いましたが、歌ですから」と笑いそうな気がします。

TEXT

梅花女子大学教授 市瀬 雅之

現代訳から原文までを用いて『万葉集』に文学を楽しむほか、『古事記』や『日本書紀』等に日本神話や説話、古代史をわかりやすく読み解く。中京大学大学院修了 博士(文学)。
著書に『大伴家持論 文学と氏族伝統一』おうふう1997年、『万葉集編纂論』おうふう 2007年、『北大阪に眠る古代天皇と貴族たち 記紀万葉の歴史と文学』梅花学園生涯学習センター公開講座ブックレット 2010年。ほか執筆・講演・講座多数

SELECT



1955年 神戸市生まれ。1980年「青」に入会。波多野爽波に師事。2000年「ゆう」入会。田中裕明に師事。編集担当。2010年俳誌「秋草」を創刊し主宰する。毎月発行。句集に『書信』『讀本』『木簡』がある。2018年句集『木簡』で読売文学賞受賞。日本文藝家協会会員。

選者 山口 昭男 やまぐち あきお

【俳句の応募方法】
氏名・住所・年齢・明記のうえ、ハガキ、封書、FAX、下記の応募フォームのいずれかからご応募ください。

【宛先】
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘1-13-23 株式会社シティライフNEW 俳句係まで FAX 06-6368-3505

【応募フォーム】
<https://pro.form-mailer.jp/fms/f413b102177160>

※締め切りは毎月25日必着 ※いずれも一人5句まで ※掲載は次々号となります ※佳作は掲載をもって発表とさせていただきます。 ※お名前と作品を掲載します。

「つづやき評」
俳句を作る時に必要な要素として発見と驚きがあります。小さな発見、小さな驚きが俳句という詩になってゆきます。事あるごとにこのように心持で物や事に接すれば、詩心が育まれてゆきます。

秋風に醤油(ひしお)の匂う焼きにぎり
黙禱のサイレン遠く秋の川
浴衣着て前歯の大き笑顔の子
新涼やラジオ体操第二まで
石ころの影長くなり秋の声

吹田市 小澤 桔梗	吹田市 辻井 康祐
箕面市 高橋 真美	箕面市 大石 典子
茨木市 松尾 むつ子	吹田市 秋山 寛
箕面市 大石 典子	箕面市 高橋 真美
西宮市 宮部 志津枝	吹田市 秋山 寛
	吹田市 小倉 佳子

俳句 / HAIKU

8月25日締切りでご投句いただいた中から、山口昭男先生に入選作品を選んでいただきました。

【優秀賞】
遺されし五玉算盤西鶴忌
豊中市 上杉 千代子

【入選】
空蟬を載せて遮断機上がりけり
吹田市 辻井 康祐

8月の空や飛行機雲白し
箕面市 大石 典子

始発駅終着駅も合歡の花
吹田市 秋山 寛

驚きが詩となりました。見逃してしまいそうなことを心に留めることです。

眼の透けてより空蟬の貌となる
箕面市 高橋 真美

「眼の透けて」が眼目。この発見が俳句としての詩になってゆきます。

空蟬や夢のつづぎを見つげぬ
豊中市 小倉 佳子

空蟬(うつせみ)は、蟬の殻。はかない物への優しさを感じます。

FM COCOLO X CITYLIFE / 音楽のCOCOLO Vol.28 FM COCOLOの人気DJが季節やテーマに合わせた音楽を紹介。 radiko なら、パソコン・スマートフォンでFM COCOLOが無料でクリアに聴ける! FM COCOLO WHOLE EARTH STATION

『凜としている』の一言に尽きるアルバム



ALBUM
LEARNING TO CRAWL

ARTIST
THE PRETENDERS

『凜としている』バンドの印象はこの一言に尽きる。特にリーダーのクリッシー・ハインド。しゃがれながらも凛々しいヴォーカル。ステージでギターを掻き鳴らす姿は華やかさと包容力を兼ね備え最高に格好いい。彼女が客席に視線を送るだけで会場から黄色い声も上がる。けれどプリテンダーズの魅力はクリッシーの居住まいだけにあらず。ロック、パンク、ポップスのどの要素も持ち合わせたバンドサウンドはチャートも賑わせてきた。84年リリースのこのアルバムはどの曲もキレがあってキャッチー。捨て曲なしのアルバムと言いたい。アルバムで聴くと次々に珠玉の楽曲が溢れ出す! ああ〜どの曲も好き! アルバムの最後を飾るクリスマスソング『2000マイルズ』でのクリッシーのブルースハープも沁みる。当時クリッシーはプライベートで離婚、バンドのメンバーが変わるなど大変な事が多く心理的ダメージも多かった。その中でリリースされたこのクオリティのアルバムはやはり『凜としている』のひと言に尽きる。

THE PRETENDERS(ザ・プリテンダーズ) / 1978年結成。80年満を持してリリースされたデビュー・アルバム『愛しのキッズ』が全英No.1、全米No.9と世界的に大ヒットし一躍トップ・バンドにのし上がる。その後も着実にヒット・ソングを生み出しチャートの常連バンドとして活動を続ける。度重なるメンバーの交代を重ねることになるが、バンドの顔「クリッシー・ハインド」は常にフィーマール・ロッカーのアイコンとして君臨。動物愛護者としても活動。

SELECT DJ

池田 なみ子
NAMIKO IKEDA



大阪生まれ、B型。FM802、FM横浜など全国のミュージック・ステーションで活躍した経歴を持ち、2010年からFM COCOLOでDJを務め、週末の朝の顔として活躍。今年4月からは、ウィークデー午後のワイド・プログラムを担当。好きなものは、ライブ、舞台芸術全般と、着物、歌舞伎、茶道、器、しきたりなど日本の美しいもの。担当番組は『Wonder Garden』(月〜木曜14:00〜17:00)